

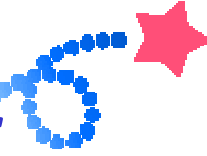
当日版!



いけませかわらばん 第1号

2009年8月8日 いけませ夏フェス in 日高現地実行委員会 発行

えぞつゆを吹き飛ばす
ボランティアの熱気



いつまでたっても明けないえぞつゆ。そんなもやもやを吹き飛ばすような快晴となった浦河町で今年もいけませ夏フェスタが開催されます。

浦河町は昨夜は濃い霧が発生しましたが、浦河第1中学校付近から立ち上るボランティアの熱気でえぞつゆも霧もどこかに行ってしまったようです。

朝早くから準備を進めてきたボランティアの人たちも、「今回は熱くなりそう」と汗をかいていました。「今年は傘地藏のパフォーマンスを4人でやります。お楽しみに!」(日高町・かなざわさん)、「2日間手伝うだけです。教え子が来ますので楽しみにしています。」(浦河町・民部さん)など意欲満々で準備を進めていました。

全道から続々 参加者が集合



午前11時頃から会場となった浦河第1中学校に全道から参加者が集まりはじまりました。

千歳市からボランティア参加の斉藤さんは「3回目の参加です。やれるだけ精一杯お手伝いします」、浦河町から参加のいかべなみさんとお母さんは「来て良かった・楽しみにしてます」「初めてなのでどんなことでやってみようと思います」、また今回のいけませ夏フェスの実行委員でもある永原智博さんは「とにかく天気で良かった。花火もきっときれいに見れることでしょう」と意気込みを語ってくれました。

参加者は玄関前でぬいぐるみや高橋先生と一緒にカメラに収まり精一杯の笑顔を見せていました。



今年は晴れたで始まった 高橋実行委員長のあいさつ

ボランティアさんの昼食も終わり、参加者もほとんど集まった午後2時過ぎ、体育館で今年のオープニングセレモニーが始まりました。

最初にあいさつに立った高橋義男いけまぜ実行委員長は「やっと晴れたな、今年で11回目だけど初めてだな」と話し「温度が上がって熱中症になってもスタッフが居るので大丈夫。今日と明日を楽しもう」といっていけまぜの歌の大合唱をリードしました。晴天に答えるように体育館に大きな声が響き渡りました。「きっとみんなの声で日本が変わるでしょ



う」と高橋先生はお話ししてくれました。

また、開催地の谷川浦河町長が「今年一番の晴天。みんなで楽しんでいてください。みんなで出来るだけのおもてなしをします」と歓迎のあいさつをしました。

現地実行委員会の木下実行委員長も「ボランティアの方々が皆様をお待ちしていました。楽しんでいてください」とあいさつをし、オープニングセレモニーは最後には「一世代時代組」の四人組がパフォーマンスを披露してくれました。



浦河は今年一番の晴天だった

当日版!



いけまぜかわらばん 第2号

2009年8月8日 いけまぜ夏フェス in 浦河現地実行委員会 発行

いつせいにポイントラリー開始!

オープニングセレモニーが終わり、みんなはいつせいにグラウンドへ。ポイントラリーの始まりだ。

シャボン玉、馬車、乗馬、ストラックアウト、アイアンホースなどさまざまなイベントにみんなはもう夢中。

ポニーがひく馬車に乗ってご満悦な参加者や、けたたボールが上手く当たらず残念がる参加者など、グラウンド中に子どもたちの歓声が上がっていました。

苫小牧から参加したいなおか・ひろきくんとお母さんは「今年は4回目です。毎回毎回笑顔が変わっていくのがとても嬉しく感じられます。今年も精一杯楽しんでいきます」と答えてくれました。

患庭から参加してくれたうめはら・ゆかさんは「初めて子どもと一緒に参加しました。子どもと同じ病気を持った家族とお話できることを楽しみにしてきました。夏祭りに参加できることをうれしく思います」と話してくれました。

ポイントラリーが一段落し始めた頃、学校の前庭ではよさこい踊りが始まりました。

鳴子が参加者に配られ、踊りと音楽に合わせて鳴子が打ち鳴らされると、前庭は興奮のるつぽ。みんなが体に大きく動かすたびに参加者のエネルギーが浦河町の空に飛び出していました。





お母さんたちも 美しくなりました



今年も会場内に設けられたお母さんたちのためのエステコーナーは大盛況。人気は抜群。順番待ちの人が椅子に座って待っていました。

さとうさん（札幌市）は「すっきりしました。やっぱり手入れは大切ですね」、同じく札幌から参加しているやはぎさんは「毎日やってほしいと思います。子どもはボランティアにお任せして、美しくなりたいと思います。」と語ってくれました。

銀聖の創作おかずなのだ

何とんでもいけませでも最大の関心事は夕食のメニュー。ことしは浦河町のボランティアの皆さんが心を込めてカレーを用意してくれました。

メニューはカレーライスと鮭ザンギ・イカフライなど。何でも町内3カ所に分かれて調理したとのこと。

また、普通食を食べることの出来ない参加者のため、きざみ・流動食を作るスタッフは今年も大活躍。なかでも小樽からボランティア参加してくれたたかはし・みかさんは銀聖の創作おかずを作りながら「とっても楽しい。作業は単純だけれども喜んでもらえればうれしい。もちろん味も試食してみたけれどもバッチリです」と答えてくれました。



当日版!



いけまぜかわらばん 第3号

2009年8月8日 いけまぜ夏フェス in 浦河現地実行委員会 発行



今年のいけまぜ夏フェスの夕食のメインはカレーです。地元浦河町のボランティアの女性たちが腕によりをかけて作ってくれました。付け合わせには浦河ならでの銀聖の鮭ザンギ・いかフライとおいしさと栄養が満点。大盛りでおかわりする子が続出しましたが、今年はずっぴりご飯も用意しており準備万端。

銀聖、イカフライ! 海の幸!!
そしてカレーとヨーグルト!



浦河町のボランティア参加のそうま・しょうこさんは『皆さん美味しく食べてくれて、作りが良かったです。』と調理の大変さを感じさせず話してくれました。

また、浦河高校の同期生9人と参加した鶴木愛理さんは「参加者の皆さんと一緒に食事をしました。貴重な経験を得ることができました。」と語ってくれました。浦河町から参加のすすき・のこのさんのお母さんは「流動食が食べやすく、また、子どもも美味しいといっぱい食べてくれました。」こうや・かずみさんは「カレーおいしい。お家のカレーはもっと美味しいけど残さず全部食べました」、札幌のかえりやま・りょうくんは「残さず食べました。お腹いっぱいです。でもみんなと遊びたい」とそれぞれに感想を話してくれました。





今回、15組の方々が『わらしべ園』に赴き、乗馬療育体験をしてきました。乗馬やブラッシング、馬の人形作り、えさやりなどの体験を通して、馬とふれあうことができました。

すどうしゅうかさんのお母さんは、「無理だろうと思っていましたが、乗れたことに驚いています。感無量です。」と、乗っている姿を見ながら語ってくれました。

くぼけいとさんは、馬をなでながら

「お馬さんはざらざらしていた」と感想を言ってくれました。

おおたきたかきさん、「(馬に乗ったら)高かった。楽しかった。また乗りたい」のだそうです。

帰りのバスの中、あちこちから「来てよかった！」という子どもたちの声が聞こえてきました…。

乗馬療育体験



今日の日…楽しい思い出



当日版!



いけませかわらばん 第4号

2009年8月9日 いけませ夏フェス in 浦河現地実行委員会 発行

いけませごぞう



浦河の夜空に輝く



花火が打ち上がる前に、浦河町実行委員会の特製仕掛けによる炎のいけませのマークが夜空にくっきりと浮かび上がるとみんなの期待感も最高潮となりました。

高橋先生の開始の合図で次々と花火が打ち上がると、あちらこちらから歓声が大きくあがりました。

高く上がった花火が霧の中に幻想的な大輪を咲かせる
と花火大会はクライマックスとなりました。



さあ一寝る準備はできたかな



花火が終わると今日のイベントは全て終了。残念ながらお泊まりができずにお家に帰る参加者20数名の中にはすでに家路についた人も多く、花火大会から戻ってきた参加者は、布団の準備をしたり、顔を洗ったり、歯を



磨いたりなど、今日一日の楽しい思い出を胸にしまい込んで消灯の時間を待っていました。すでに眠りの世界に入ってしまった参加者もいたようですが、今夜はいったいどんな夢を見るのかな？



参加者が目覚めた頃、残念ながら浦河の町は霧の中。でも今日もみんなの願いが通じて晴れ上がるでしょう。

朝、6時30分過ぎ「オキロー、朝だぞー」の館内放送が入り全員起床。トイレに行ったり洗面所で顔を洗ったり、会場内は朝の準備で大忙し。

そんな中、コーヒーカップを手にした札幌のかとう・ときこさんは「昨日はゆっくり眠れました。コーヒーが美味しくてありがたい。朝ご飯をしっかり食べて運動会で頑張ります」と話してくれました。

会場前に集まった参加者はリーダーに合わせ、ラジオ体操を行いました。登別のうちや・みちこさんは「体操で目がすっきり覚めました。ご飯を食べて運動会で頑張ります」と話してくれました。



朝はラジオ体操から

朝ご飯は豪華メニューだ

朝ご飯は、ぱんぱかぱんのパン。スタッフ全員で手作りしたという、お手製の浦河特産のイチゴとトマトのジャム。これに牛乳とバナナがつくという豪華メニュー。

朝ご飯を準備してくれた地元ボランティアのさわだ・ふみこさんは「昨日はジャムの手作り、朝早くから準備しました。きっと美味しくてほっぺが落ちますよ」と話してくれました。

会場では早速、特製ジャムをぬったパンにかじりついたり、ソーセージをほおばるなど参加者の美味しい朝ご飯をいただく嬉しい顔があちらこちらで見ることができました。



当日版!



いけませかわらばん 第5号

2009年8月9日 いけませ夏フェス in 浦河現地実行委員会 発行

グラウンドで運動会の始まりました

運動会はグラウンドで開催されました。会場内から運動会開催をお知らせするアナウンスにつられて参加者が続々とグラウンドに集まってきました。

運動会は笛の合図で何人かが集まり、自己紹介をすることから始まりました。互いに名前を名乗った後、大きな風船で交流を深め、4つの色のグループに分かれ競技に移りました。

最初につなひきが行われ、千歳から参加のさいとう・あかりさんは「つかれた。手も痛くなってしまった。でも勝ててよかった」と勝利の喜びを語ってくれました。



最高の天気でした。乗馬・花火パワーアップ。 永原呼びかけ人代表

今回の夏フェスを呼びかけた、永原呼びかけ人代表は「とにかく天候に恵まれました。乗馬体験も馬産地ならではの2カ所に分かれて体験できました。実行委員たちが知恵を絞って、汗を流したいけませこぞうの火文字も大成功、花火もパワーアップ。これからの夏フェスは規模が大きくなります。是非、ご健闘を」と語ってくれました。

いよいよ今年のフィナーレ

来年もまたお会いしましょう

フィナーレは高橋いけまぜ実行委員長の司会で始まりました。高橋先生は体育館に集まった全参加者に対し「天気良くてよかった。天気良ければ全てよし」とあいさつしました。

木下現地実行委員長が「楽しかった今年のいけまぜ夏フェスもいよいよ終わりです。楽しんでいただけただか心配ですが精一杯のおもてなしをすることができました」とあいさつしました。

参加者は修了証書を手にとりそれぞれのお家へ帰り道に着きました。

参加者一人一人がいろいろな思い出を作った今年のいけまぜが終わりました。フィナーレの会場では楽しかった思い出をより強く心に残すため全員で記念写真を撮影し来年の再会をお互いに誓い合いました。

帰り支度を済ませた参加者はそれぞれバスや自家用車で家路につきました。

次期開催地はお楽しみ

来年のいけまぜ夏フェスは現在準備中。例年ですとフィナーレで発表となりますが、なんと今年はヒミツ！複数の開催希望地と現在、調整中ですがまだ決定にはいたっていないとのこと。

決まり次第、にわとりクラブのホームページなどでお知らせいたします。

さて、皆さん来年はいったどこで再会することができるのでしょうか。期待して待っていて下さい。



来年、どこかの町で再会しましょう・・・！

